

生成 AI とグローバル知的財産エコシステム：地域別導入、技術、戦略に関する分析

Gemini Deep Research

エグゼクティブサマリー

本レポートは、世界の知的財産（IP）ランドスケープにおける生成 AI（GenAI）の変革的でありながらも不均一な導入状況について、包括的な分析を提供する。主要な調査結果は、テクノロジー、法規制、市場力学が複雑に絡み合い、地域ごとに異なる導入モデルと戦略的課題を生み出していることを示している。

まず、GenAI 関連の特許出願は爆発的に増加しており、中国がこの分野を圧倒的にリードしている¹。これは、次世代技術の支配をめぐる世界的な戦略的競争が激化していることを示唆している。この特許活動は、敵対的生成ネットワーク（GAN）から、最近では大規模言語モデル（LLM）や拡散モデルへと技術的焦点が移行していることを反映しており、現在市場に投入されている IP ツールの種類と直接的に相関している²。

地域別の分析では、規制の成熟度と導入モデルにおいて著しい差異が明らかになった。欧州は、EU AI 法や専門機関のガイドラインに代表されるように、ガバナンスを優先するアプローチをとっている⁴。一方、米国市場は、訴訟リスクへの配慮と市場主導の統合が特徴であり、個人レベルでの導入が進む一方で、企業レベルでは慎重な姿勢が見られる⁶。アジア太平洋地域は、中国の圧倒的なボリューム、韓国の R&D 主導のツール開発、インドのリープフロッグ型導入、東南アジアの断片的だが高成長な市場など、多様なダイナミクスを示している⁸。

技術的応用に関しては、先行技術調査や特許明細書作成といったユースケースが最も大きな影響を与えている。これらの分野では、効率性が最大 60% 向上するとの報告もあり、IP 実務のあり方を根本的に変えつつある¹²。しかし、その活用は普遍的に「ヒューマン・イン・ザ・ループ（人間が介在する）」というパラダイムに支配されており、AI は専門家を代替するものではなく、補強するツールとして位置づけられている。

最後に、本レポートは、すべての地域と組織に共通する中核的な戦略的課題、すなわち「機密性、正確性、法的責任」という三つの要素を特定する。これらのリスクを管理することは、GenAI の可能性を最大限に引き出すための前提条件である。本レポートの結論では、この新たな技術的フロンティアを航海するための具体的なガバナンスフレー

ムワークと戦略的提言を提示する。

セクション 1: グローバルな生成 AI 特許ランドスケープ: マクロ的視点

本セクションでは、IP セクターに革命をもたらしている GenAI ツールの技術的基盤を確立する。イノベーションのパイプラインを分析し、どの事業体や国がこの技術の未来を形作っているかを明らかにする。

1.1. 特許出願の速度と主要プレイヤー

爆発的な成長

GenAI 関連の特許出願は、指数関数的な成長を遂げている。2014 年にはわずか 733 件だった特許ファミリー数が、2023 年には 14,000 件以上にまで急増した²。このブームは、GenAI が単なる研究テーマから商業的に極めて重要な技術資産へと移行したことを反映している²。過去 10 年間に創出された全 GenAI 発明の 25%以上が 2023 年単独で公開されており、イノベーションのペースが加速していることを示している¹。この成長は、2017 年に Transformer モデルが導入されて以降、特に顕著であり、GenAI 関連の特許数は 8 倍以上に増加した³。

地理的優位性

特許出願において、中国は議論の余地のないリーダーである。38,210 件の特許ファミリーを保有し、これは第 2 位のアメリカ (6,276 件) の約 6 倍に相当する数字である¹。これに韓国 (4,155 件)、日本 (3,409 件) が続く¹。このデータは、中国の企業や研究機関がこの領域における IP 確保に明確な戦略的重点を置いていることを示している。

成長のホットスポット

出願件数では中国がリードしているが、成長率ではインドが最も高い伸びを示しており、前年比 56%増を記録した¹。これは、インドが AI 開発における重要な新興プレイヤーとして急速に台頭していることを示唆している。

主要出願人

特許ランドスケープは法人組織によって支配されている。出願人トップ 5 のうち、4 社が中国の巨大テック企業および金融企業である。具体的には、Tencent (2,074 件)、Ping An Insurance (1,564 件)、Baidu (1,234 件) が上位を占めている¹。中国以外の企業でトップ 5 にランクインしているのは IBM (601 件) のみであり、これに Alphabet/Google が続く¹。この傾向は、中国の国家戦略と企業活動が密接に連携していることを示唆している。一方で、科

学論文の発表数では、中国科学院や清華大学といった研究機関が上位を占め、Alphabet/Google はトップ 20 に入る唯一の企業である 3。この事実は、中国において国家主導の研究が企業の IP 戦略に強力な基盤を提供している構造を浮き彫りにしている。このような特許出願の集中は、単なる有機的な企業の研究開発の結果ではなく、次世代 AI の基盤となる IP を所有するための、調整された国家レベルの産業政策の実行と解釈できる。他地域の企業や法律事務所は、特にアジアにおいて、この巨大な IP ポートフォリオ上に構築された中国開発のプラットフォームが将来の GenAI ツール市場を支配する可能性を予期する必要がある。これは、ライセンス交渉、国境を越えたデータフロー、技術標準の策定に深遠な影響を及ぼすだろう。

1.2. 主要な技術トレンド

中核となるモデル

これらの特許の技術的基盤には、いくつかの主要なモデルが含まれる。具体的には、敵対的生成ネットワーク（GAN）、変分オートエンコーダ（VAE）、拡散モデル（Diffusion Models）、そして大規模言語モデル（LLM）である 2。

焦点の移行

歴史的に、GAN は最も多く特許化されたモデルタイプであり、2014 年から 2023 年の間に約 9,700 件の特許ファミリーが出願された 2。しかし、その成長は鈍化傾向にある。対照的に、LLM と拡散モデルは、ChatGPT のようなツールの一般公開を契機に、2021 年以降、爆発的な成長を遂げている 2。この特許の焦点の移行は、現在市場に登場している IP ツールの種類（例えば、LLM ベースの明細書作成支援ツール）と直接的に相関している。

ハイブリッドおよびマルチモーダルシステム

顕著な新興トレンドとして、異なるアーキテクチャ（例：GAN と LLM）を組み合わせるテキストから画像への生成のような複雑なタスクを実行するハイブリッドモデルの台頭が挙げられる。テキスト、画像、動画、さらには分子構造といった多様なデータ入出力を処理できるこれらのマルチモーダルシステムは、GenAI の応用範囲をライフサイエンスから製造業まで、数多くの経済セクターへと拡大させている 2。

セクション 2：地域別詳細分析：導入、規制、市場ダイナミクス

本セクションでは、指定された各地域について、導入状況、法的枠組み、市場の成熟度における主要な違いを浮き彫りにするため、一貫したフレームワークを用いた詳細かつ比較的な分析を行う。

2.1. 欧州（EU および英国）：ガバナンス主導型市場

導入トレンド

欧州における GenAI の導入は、「ガバナンス・ファースト」の精神によって特徴づけられる。法律事務所や企業は、特に特許プロセキューションにおける効率向上のために AI 統合に注力しているが、複雑な規制環境を背景に慎重な姿勢を崩していない⁴。急速で破壊的な導入よりも、構造化され、コンプライアンスを重視した統合が優先されている。

導入事例

- **欧州特許庁（EPO）**：EPO は単なる規制機関ではなく、積極的な導入者でもある。EPO は、欧州特許条約（EPC）、審査ガイドライン、審決例を学習させた独自の GenAI 搭載チャットボット**「MyEPO Legal Interactive Platform（LIP）」**を立ち上げた¹⁹。このツールは、審査官や弁理士を支援し、法的根拠への直接リンク付きで構造化された回答を迅速に提供することで、法務調査を効率化し、新人スタッフの研修ツールとしても機能している²⁰。
- **Womble Bond Dickinson（英国）**：この法律事務所は、英国で初めて Thomson Reuters の **CoCounsel** を全社的に導入した事務所となり、AI への戦略的コミットメントを示した。その目的は、法務調査、文書レビュー、ドラフト作成といった業務におけるサービスの速度と質を向上させることである²¹。

規制ランドスケープ

- **EPO の AI 関連発明に関するガイドライン**：EPO は AI 関連発明をコンピュータ実装発明（CII）のサブセットとして扱っている²²。特許性は、発明が「技術的特徴」を有し、「技術的課題に対する技術的解決策」を提供するかどうかにかかっている²³。抽象的な数学的方法やアルゴリズム「そのもの」は特許の対象とはならない²²。また、ガイドラインは十分な開示を義務付けており、当業者が発明を再現できるよう、数学的方法や学習データセットに関する詳細な記述を要求している²³。
- **epi の倫理ガイドライン**：欧州特許庁の代理人協会（epi）は、GenAI を使用する弁理士向けに厳格なガイドラインを発行した。主要な原則には、クライアントの利益を最優先すること、AI 使用前にクライアントの同意を得ること、AI 生成物に対する全責任を負うこと（AI をエラーの言い訳にはできない）、クライアントデータの機密性を確保することが含まれる⁵。弁理士は、使用するツールのセキュリティプロトコルを積極的に検証する義務を負う⁵。
- **EU AI 法**：この包括的な規制は、AI システムをリスクレベルに応じて分類し、高

リスク応用には厳格な要件を課す。また、GenAI に対しては、AI によって生成されたコンテンツであることを開示するなど、透明性を義務付けている⁴。

- **AI 発明者（DABUS 事件）**：EPO、英国最高裁判所、ドイツ連邦司法裁判所はすべて、AI を発明者として指定することを明確に否定し、発明者は自然人でなければならないと断定した²²。

2.2. 米国：成熟した訴訟重視型市場

導入トレンド

米国市場は興味深い二分法を示している。法務専門家による個人レベルでの導入は増加しており、2024 年には31%が業務で利用している（2023 年の27%から増加）⁶。しかし、

事務所全体での組織的導入は、特に小規模事務所においてわずかに減少している

（2024 年は21%、2023 年は24%）⁶。大規模事務所（弁護士51人以上）では導入率がはるかに高く（39%）、このことは、個人が無料または低コストのツールで実験的に利用する「シャドーAI」のトレンドを示唆している。一方で、企業はエンタープライズ級プラットフォームのコスト、セキュリティ、法的責任の問題に直面している⁷。導入の主な動機は、効率性の向上とコスト削減である³³。

導入事例

- **Fisher Phillips**：この労働・雇用法務事務所は、**Casetext** の **CoCounsel**（現在は Thomson Reuters の一部）を導入した最初の主要事務所である。文書レビュー、法務調査メモの作成、契約書分析、宣誓証言録取準備などに活用し、効率と正確性の向上を通じて「クライアントに即時かつ持続的な利益」をもたらしたと報告している³⁴。
- **法律事務所の一般的傾向**：調査によると、トップユースケースは文書レビュー（74%）、法務調査（73%）、文書要約（72%）である³⁵。AI は、画像やチャットなどの現代的なデータタイプの分析、機密情報（秘匿特権）の保護、文書レビューワークフローの最適化など、e ディスカバリーや訴訟支援に重点的に統合されている³⁶。
- **企業法務部**：Spellbook による2025年の調査では、企業法務部の38%が日常的にAIを使用しており、主に契約書作成、調査、翻訳に利用していることが判明した。主な懸念事項は、ハルシネーション（78%）とデータセキュリティ（74%）である³³。

規制ランドスケープ

- **USPTO の AI 発明者に関するガイダンス**：発明者は人間でなければならないと確認した画期的な *Thaler v. Vidal* 事件を受け³⁸、米国特許商標庁（USPTO）は 2024 年 2 月にガイダンスを発表した。このガイダンスは、*Pannu* 要因に基づき、自然人が発明の「概念化に重要な貢献」をした限り、AI 支援による発明も特許可能であることを明確にしている⁴¹。単に AI に問題を提示するだけでは不十分だが、特定の解決策を引き出すために具体的なプロンプトを構築することは貢献と見なされうる⁴²。
- **USPTO の特許適格性に関するガイダンス**：AI 関連発明に対し、USPTO は標準的な *Alice/Mayo* の 2 段階テストを適用する⁴⁴。AI 関連のクレームは、それが抽象的なアイデア（数学的概念や精神的プロセスなど）に向けられていない場合、または、もしそうであってもそのアイデアを「実践的な応用」に統合し「発明的な概念」を構成する場合に、特許適格性を有する³⁹。これを示す重要な方法の一つは、AI がコンピュータの機能を改善したり、特定の技術的問題を解決したりすることを示すことである³⁹。
- **USPTO の AI ツール使用に関するガイダンス**：USPTO は、実務家に対し、誠実かつ善意の義務を再確認させている。AI ツールの出力に単に依存することは「合理的な調査」とは見なされない。実務家は、すべての提出物の正確性に全責任を負い、「ハルシネーション」を避けるために AI が生成したコンテンツを検証しなければならない⁴⁵。

2.3. 中国：量と速度のリーダー

導入トレンド

中国における導入は、技術的自給自足を目指す国家支援の推進力により急速に進んでいる。国内の巨大テック企業が最前線に立ち、独自の AI モデルを幅広いサービスに統合している¹⁴。その焦点は、完全に垂直統合された AI エコシステムの構築にある。

導入事例

- **Baidu の ERNIE Bot**：トップ特許出願人である Baidu は、ERNIE シリーズの LLM を開発した¹⁴。ERNIE 4.0 は、Baidu の検索エンジンやその他の製品に統合され、単なるリンク提供を超えたパーソナライズされた回答を提供している⁴⁸。同社はまた、AI を用いて動物の鳴き声を翻訳する特許取得済みシステムなど、新規性の高い応用も模索している⁴⁹。

- **Tencent と Ping An** : Tencent は WeChat のような製品に GenAI を統合しており、金融大手の Ping An は保険引受やリスク評価に活用している⁴。
- **AI 生成画像の著作権** : 2023 年 11 月の画期的な判決で、北京インターネット裁判所は Stable Diffusion を用いて生成された画像に著作権保護を認めた。裁判所は、原告が詳細なプロンプトを作成し、パラメータを調整した知的投資が、保護に値する十分な「人間の創造的表現」を構成すると判断した⁴⁷。これは重要な判例となる。
- **AI モデルの保護** : 2025 年の事件で、北京 IP 裁判所は、Douyin (TikTok) の動画特殊効果用 AI モデルが、著作権の対象ではないとしても、多大な研究開発投資を競争上の利益として認め、不正競争防止法の下で保護されると判断した⁸。

規制ランドスケープ

- **CNIPA の AI 関連発明に関するガイドライン** : 2024 年 12 月に公表されたこのガイドラインは、AI 特許出願に関する具体的な基準を定めている⁵²。発明者は自然人でなければならない、人間の貢献がない AI 生成発明は特許性がないことを確認している⁵²。
- **特許適格性のある主題** : ガイドラインは、AI 発明が特許性を有するためには、自然法則を利用して「技術的課題」を解決する「技術的解決策」でなければならないと明確にしている⁵⁴。これは、AI が特定の技術的意味を持つデータを処理する場合、コンピュータシステムの内部性能を向上させる場合、または自然法則に合致するデータ内の固有の相関関係を活用する場合などに示される⁵²。
- **CNIPA による AI の活用** : 中国国家知識産権局 (CNIPA) 自身も、特許審査の効率を高めるために AI を導入しており、先行技術文献の配布や出願書類の不備特定といった業務に活用し、平均審査期間を 15 ヶ月に短縮することを目指している

⁵⁶。

2.4. 韓国 : R&D の拠点

導入トレンド

韓国の導入は、世界的に競争力のあるテクノロジーコングロマリット（例 : Samsung, Hyundai, Naver, Kakao）とダイナミックなスタートアップエコシステムによって牽引されている⁹。基盤となる AI モデルの開発と、ロボティクスや自動運転車などの産業分野への応用の両方に強い焦点が当てられている⁹。モデルやデータセットといった AI 資産を保護するため、特許と営業秘密を組み合わせたハイブリッド IP 戦略が一般的である⁹。

導入事例

- **WAND「Patsol」**：元韓国特許庁（KIPO）職員が設立した韓国のスタートアップである WAND は、調査、明細書作成、分析を網羅するオールインワン特許ソリューション「Patsol」を開発し、専門的な IP ツールに対する国内市場の洗練度を示している⁵⁷。
- **IPLucy**：ソウルの特許法律事務所によって設立された IPLucy は、自社のニーズを満たすために独自の AI 特許検索エンジンと特許専門の翻訳エンジンを開発し、専門サービス企業がテクノロジー開発者になるというトレンドを浮き彫りにしている⁵⁸。
- **Naver と Kakao**：これらの巨大テック企業は、CLOVA AI などのコア AI モデルやデータセットを、特許と積極的な営業秘密ポリシーの組み合わせによって保護している⁹。

規制ランドスケープ

- **KIPO の AI 関連発明に関するガイドライン**：KIPO は、2020 年に設立され、定期的に更新される AI に関する詳細な審査ガイドラインを有している⁵⁹。これらは、実施可能要件を満たすために、学習データ、前処理方法、損失関数といった技術的構成の具体的な開示を要求している⁶¹。ガイドラインは、異なるタイプの AI 発明（例：AI モデル学習発明 vs. AI 応用発明）に対する具体的な例を提供している⁶²。
- **AI 発明者（DABUS 事件）**：他の主要な法域と同様に、韓国の裁判所（ソウル行政裁判所およびソウル高等裁判所）と KIPO は、韓国特許法における発明の定義が人間の精神活動を前提とする「自然法則を利用した技術的思想の創作」であることに基づき、DABUS 出願を断固として拒絶し、発明者は自然人でなければならないと判断した⁶⁴。
- **AI 基本法**：韓国は 2025 年に AI 基本法を可決し（2026 年施行）、高影響度 AI に対する倫理原則や安全義務を含む包括的なガバナンスシステムを確立した⁶⁶。

2.5. 台湾：半導体中心のイノベーター

導入トレンド

台湾における導入は、世界をリードする半導体およびハイテク製造業のニーズに大きく影響されている⁶⁷。TSMC のような企業は常にトップの特許出願人であり、この分野のイノベーションを牽引している⁶⁸。信頼性の高い台湾製 AI 対話エンジンを構築するプロジェクトに代表さ

れるように、独自の AI 能力を開発するための政府の強力な後押しがある⁶⁸。企業の導入は、従業員による GenAI の使用に関する明確な内部ガイドラインを確立し、営業秘密の漏洩や法的違反のリスクを軽減することに焦点を当てている⁷⁰。

規制ランドスケープ

- **TIPO の著作権と発明者に関する見解**：台湾智慧財産局（TIPO）は、十分な「人間の創造的インプット」がない限り、AI 生成コンテンツは著作権の対象とはならないと述べている⁶⁷。人間が単純なプロンプトを超えて貢献するほど、保護の可能性は高まる⁷²。同様に、TIPO は、AI が台湾法上「物」と見なされ、法人格を持たないため、発明者は自然人でなければならないとの立場を維持している⁷¹。
- **特定の AI 法の欠如**：台湾には現在、GenAI を規制する特定の法律はないが、2024 年に「人工智慧基本法」草案が提出された⁶⁷。TIPO は国際的な動向を注視しており、当面は既存の著作権法および特許法が AI 関連の紛争に適用される⁶⁹。
- **業界の自主規制**：強行法の不在の中、政府は業界の自主規制と企業による内部ガバナンスフレームワークの採用を奨励している⁷⁰。

2.6. インド：新興リーガルテック導入国

導入トレンド

インドの法務セクターは「リープフロッグ（蛙飛び）」型の導入パターンを示している。全体的な導入は不均一かもしれないが、トップクラスの法律事務所は、競争優位性を得るために、洗練されたグローバルクラスの AI プラットフォームを積極的に統合している¹⁰。これにより、法務市場にはテクノロジー主導の階層化が生まれており、ブティック型や成長段階の事務所も、大規模なレガシー事務所と競争するための「イネーブラー」として AI を見なしている¹⁰。

導入事例

- **Shardul Amarchand Mangaldas (SAM)**：SAM は、Harvey AI と提携した最初のインドの法律事務所であり、全オフィスにその完全なスイートを導入して、契約書作成、デューデリジェンス、法務調査を加速させている¹⁰。同事務所はまた、弁護士向けのプロンプトエンジニアリングに関する集中的な研修プログラムも開始した⁷⁵。
- **IndusLaw**：この事務所は、インド国産の GenAI プラットフォームである Legitquest と提携し、建設紛争、IP クレーム、M&A デューデリジェンスを自動化するためのカスタム AI ツールを開発した⁷⁶。
- **Khaitan & Co**：この事務所は、約 2 年前に独自のセキュアな AI プラットフォー

ム **KAI** (Khaitan's AI) を開発し、影響の大きいユースケースを法務ワークフローに直接統合することに注力している¹⁰。

- **インド司法府**：インド最高裁判所は AI を積極的に活用している。取り組みには、判決を地域言語に翻訳するための **SUVAS** (Supreme Court Vidhik Anuvaad Software) や、法廷手続きのライブ文字起こしに AI を使用することが含まれ、透明性とアクセシビリティを高めている⁷⁷。

規制ランドスケープ

- **特許庁の特定ガイドラインの欠如**：インド特許庁は、AI 関連発明に関する特定のガイドラインをまだ発行していない⁷⁹。現行の 1970 年特許法が現在の基準であり、これによれば「真実かつ最初の発明者」は自然人でなければならない⁷⁹。
- **DABUS 事件は係属中**：AI システム DABUS を発明者として指定した特許出願は、インド特許庁でまだ係属中であり、インド法上 AI は「真実かつ最初の発明者」にはなれないという理由で異議が申し立てられている⁷⁹。その結果は、インドの将来の方向性を示す重要な指標となるだろう。

2.7. 東南アジア (ASEAN)：高成長だが断片的な市場

導入トレンド

この地域は、2030 年までに 1 兆ドル近くに達すると予測される急成長中のデジタル経済であり、AI 導入の肥沃な土壌となっている¹¹。ASEAN 内の発展途上経済 (Deloitte の調査ではインドと東南アジア) は、アジア太平洋の先進経済と比較して GenAI ユーザーの割合が 30% 高い⁸²。企業は、特に e コマース、旅行、ゲーム分野で、GenAI ワークフローから 12 ヶ月以内にプラスの ROI を実現している¹¹。しかし、市場は非常に断片的であり、国によって開発、インフラ、規制能力に大きな違いがある¹¹。

導入事例

- **IP ハブとしてのシンガポール**：シンガポールは、地域の IP および AI のリーダーとしての地位を確立している。強力な IP エコシステムと、AI 特許出願の迅速審査制度 (**Accelerated Initiative for Artificial Intelligence**) を有しており、最短 6 ヶ月で特許を付与することができる⁸⁴。IPOS はまた、AI 特許審査に関する補足ガイダンスも公表している⁸⁶。
- **ベトナムの DTI 法**：ベトナムは、デジタル技術産業法 (DTI 法) 草案により、AI に関する規定を含む積極的な規制アプローチをとっている。AI 生成コンテンツに対する透明性、説明責任、明確なラベリングを義務付けている⁸⁷。

規制ランドスケープ

- **断片的で未成熟：**ほとんどの ASEAN 諸国には、AI に関する特定の法的または IP フレームワークが欠けている⁸³。インドネシア、タイ、ベトナムの既存の特許法は、コンピュータプログラム「そのもの」を特許の対象から明確に除外しており、純粋なソフトウェアやアルゴリズムの発明には課題となっている⁸⁵。
- **人間中心の IP 法：**地域全体（シンガポール、マレーシア、タイ、フィリピン、インドネシア、ベトナム）で、著作権法および特許法は人間中心であり、人間の著作者または発明者を要求している。これにより、純粋な AI 生成作品の地位は法的なグレーゾーンに置かれている⁸⁷。
- **主要な課題：**企業は、AI 生成作品の所有権や侵害リスクに関する法的不確実性に直面している。主な戦略は、AI プロバイダーの利用規約に依拠し、強力な内部ガバナンスと従業員トレーニングを実施することである⁸⁸。

2.8. ブラジル：発展途上のフレームワーク

導入トレンド

ブラジルの IP セクターにおける GenAI の導入は初期段階にあり、その法的枠組みの発展と密接に関連している⁹⁰。この技術は、IP 分析、侵害予測、特許ドラフティングを強化する可能性を秘めていると見られているが、過度の依存は IP システムを混乱させる懸念がある⁹⁰。

規制ランドスケープ

- **特定の AI 規則の不在：**ブラジルには現在、AI 発明に関する特定の規制がない。国立産業財産権庁（INPI）は、既存の**「コンピュータ実装発明に関する特許出願審査ガイドライン」**に依拠している⁹¹。
- **「技術的效果」の重視：**ブラジル法は「ソフトウェアそのもの」を特許の対象から除外している。特許性を有するためには、AI 発明は、単なるデータ操作を超えた、具体的な「技術的效果」を生み出し、技術的課題を解決するコンピュータ実装システムでなければならない⁹¹。
- **発明者：**他の法域と同様に、発明者は自然人でなければならない。
- **ブラジル AI 法案（法案 2338/23）：**これが最も重要な進展である。上院で承認され、現在下院で審議中のこの法案は、AI の規制枠組みを提案している⁹⁴。重要かつ物議を醸している条項は、商用 AI システムの提供者に対し、学習データにおける著作物の使用について著作権者と報酬交渉を行うことを義務付け、同時に権利者にオプトアウト権を与えるというものである⁹⁴。これは、ブラジルにおける AI モ

デルの開発とコストに大きな影響を与える可能性がある。

世界的な「規制の多様化」は、多国籍企業や法律事務所にとって複雑なコンプライアンス・マトリックスを生み出している。AI と IP に対する画一的なアプローチはもはや存在しない。EU は包括的でリスクベースの規制体制（EU AI 法）を構築し、その IP 機関（EPO, epi）は詳細で原則に基づいたガイドラインを発行している⁴。これはトップダウンの「予防原則」アプローチである。対照的に、米国はより市場主導のコモンロースのアプローチを取り、USPTO のガイダンスは裁判所の判決（

Thaler）や大統領令への対応であることが多い³⁹。そこでは既存の法的テスト（

Alice/Mayo, Pannu）を適応させることに焦点が当てられている。中国は、伝統的な IP 概念と他の法的ツール（例：不正競争防止法）を融合させ、西側諸国よりも AI 生成著作権に寛容と見られる裁判所主導の解釈を取り入れた、独自のフレームワークを開発している⁸。インドやブラジルのような他の地域は、主要な法案が議論される間、古い法律を新しい技術に適用する「様子見」の状態にある⁷⁹。

この多様化は、AI 支援発明の特許性、その出力物の著作権上の地位、そして学習データの合法性が、法域によって劇的に変化することを意味する。したがって、AI に関するグローバルな IP 戦略はもはや一枚岩ではあり得ない。企業は、出願、権利行使、リスク管理において、法域固有のアプローチを採用しなければならない。これらの企業に助言する法律事務所には、地域に特化した深い専門知識が求められる。この複雑さは、それを乗り切るためのリソースを持つ大規模な事務所や企業に有利に働き、小規模なイノベーターを不利にする可能性がある。

同時に、韓国⁽⁵⁷⁾やインド⁽⁷⁶⁾のような市場で、国産の専門的な IP-AI ツールが登場していることは、米国を拠点とする少数の「メガプラットフォーム」への依存からの脱却の始まりを示唆している。これは、強力であるだけでなく、特定の法域の法律、言語、特許庁の実務に合わせて調整された AI ツールに対する明確な市場の需要が存在することを示している。一般的な LLM は、KIPO や CNIPA での微妙なニュアンスを伴う特許実務には不十分かもしれない。IP 分野におけるリーガルテックの未来は、大規模な水平プラットフォームと、小規模で垂直的な、法域に特化したプレイヤーが混在するものになるだろう。法律事務所や企業の IP 部門は、単一のベンダーに依存するのではなく、両方を組み合わせた「テックスタック」を構築する必要がある。これはまた、米国以外の市場における地元のリーガルテック起業家にとって大きな機会を提示する。

表 1：AI の発明者性および著作権に関する各地域の法的スタンスの比較

地域	主要な IP 機関/組織	AI を発明者とする立場	主要なガイドランス/判例（発明者性）	AI 生成作品の著作権に関する立場	主要なガイドランス/判例（著作権）
欧州（EU/英国）	EPO, UKIPO, ドイツ連邦司法裁判所	拒否。発明者は自然人でなければならない。	EPO 審決、 <i>Thaler v Comptroller - General</i> (UKSC), ドイツ BGH 判決 (DABUS) ²⁸	人間の創造的貢献がなければ保護されない。	EU AI 法（透明性要件）、epi ガイドライン ⁴
米国	USPTO	拒否。発明者は自然人でなければならない。	<i>Thaler v. Vidal</i> (連邦巡回控訴裁), USPTO ガイドランス（ <i>Pannu</i> 要因を適用） ³⁸	人間の創造的貢献の程度に依存する。単なるプロンプト入力では不十分。	米国著作権局ガイドランス（2023 年 3 月） ⁴⁰
中国	CNIPA	拒否。発明者は自然人でなければならない。	CNIPA AI 関連発明ガイドライン（2024 年 12 月） ⁵²	人間の知的・創造的インプットが十分にあれば保護される。	北京インターネット裁判所判決（ <i>Stable Diffusion</i> 事件、2023 年 11 月） ⁴⁷
韓国	KIPO	拒否。発明者は自然人でなければならない。	ソウル行政裁判所・高等裁判所判決（DABUS 事件） ⁶⁴	KIPO は人間中心のアプローチをとる。具体的なガイドランスは発展途上。	KIPO 審査実務ガイドライン ⁶¹
台湾	TIPO	拒否。AI は法的に「物」であり、発明者にはなれない。	TIPO の見解、最高行政裁判所の判例 ⁷¹	人間の創造的インプットがない限り保護されない。	TIPO の解釈（2023 年 6 月 16 日付書簡） ⁶⁷

		い。			
インド	インド特許庁	拒否。「真実かつ最初の発明者」は自然人でなければならない。	1970 年特許法。DABUS 事件は係属中。 ⁷⁹	明確なガイドランスはないが、人間中心の著作権法が適用される。	既存の著作権法
東南アジア	各国特許庁	拒否。ほとんどの国で発明者は人間であることが要求される。	各国の特許法（例：インドネシア、タイ、ベトナム） ⁸⁵	法的グレーゾーン。ほとんどの国で人間の著作者が要求される。	各国の著作権法 ⁸⁷
ブラジル	INPI	拒否。発明者は自然人でなければならない。	産業財産法、INPI ガイドライン ⁹¹	法的枠組みは発展途上。AI 法案で議論中。	著作権法、AI 法案（2338/23） ⁹⁴

セクション 3 : IP ライフサイクル全体にわたる技術的応用

本セクションでは、知的財産のワークフロー全体にわたる GenAI ツールの具体的な応用について、高レベルの地理的分析から特定の機能的ユースケースへと移行し、詳細に解説する。

3.1. 発明、先行技術、新規性調査

調査の自動化

AI は先行技術調査を、手作業によるキーワードベースのタスクから、概念的・意味論的なプロセスへと変革している。AI ツールは、発明の説明文の文脈をキーワードだけでなく理解できるため、従来の方法では見逃されがちな関連技術を発見することができる¹³。一部の試行では、これにより調査時間が最大 60%削減されたと報告されている¹³。

調査範囲の拡大

AI は、学術論文、技術マニュアル、さらにはブログ投稿といった、手動調査ではしばしば見過

ごされがちな非特許文献（NPL）のスキュンに優れている 13。また、言語の壁を越えた調査もシームレスに実行できる 98。

主要ツール

- **XLSCOUT**：その「Novelty Checker LLM」は、独自のモデルを用いて 100 以上の法域と 2 億 2000 万件以上の NPL 文献から先行技術のランキングリストを提供し、有料の代替ツールよりも 40%高い精度を主張している⁹⁹。
- **PQAI (Patent Quality AI)**：発明者が自然言語によるクエリを通じて関連する先行技術を見つけ、拒絶を回避するのを支援するために設計されたオープンソースツール¹⁰⁰。
- **その他のツール**：この分野には、Ambercite、IPRally（グラフ AI を使用）、Visualize IP（意匠の画像ベース検索用）などが含まれる¹⁰¹。

3.2. 特許作成およびプロセキューション

自動作成

GenAI ツールは現在、単純なクレームセットや発明開示から、クレーム、詳細な説明、要約、図面を含む特許出願の完全な初稿を数分で生成できる 12。これにより、実務家の作成時間が最大 40%節約されると報告されている 12。

クレームと明細書の強化

ツールは、クレームのクローニング（例：方法クレームをシステムクレームに変換）、範囲を広げるための代替文言の提案、一貫した用語の使用の確保、先行詞の不一致エラーのチェックなどの機能を提供する 12。

オフィスアクションへの応答

大きな効率化が図られているのが、オフィスアクションへの応答である。AI は審査官の拒絶理由を分析し、引用された先行技術をレビューし、法的議論と提案されたクレーム補正を含む応答を生成できる 45。ツールは、特定の法域の判例法（例：EPO や USPTO）に基づいてトレーニングすることができる 12。

主要ツール

- **Solve Intelligence**：法域固有のモデルを持ち、作成、プロセキューション、発明開示をカバーする包括的なプラットフォーム¹⁰⁹。
- **Questel**：エクスプレス/インタラクティブモードと、EPO および USPTO のガイドラインを参照する「プロセキューションツールキット」を備えた AI 作成ツールを提供¹²。
- **DeepIP (旧 davinci)**：Microsoft Word との深い統合と、過去の出願から事務所特

有の作成スタイルを学習する能力で知られている¹⁰⁹。

- **ClaimMaster, PatentPal, IP Author** : 校正から完全なドラフト生成まで、さまざまな機能を提供するその他の注目すべきツール¹⁰⁴。

3.3. ポートフォリオ管理と戦略

自動分析

AI プラットフォームは、特許ポートフォリオ全体を分析して、強み、弱み、ギャップを特定できる。特許の分類を自動化し、コア特許とインクリメンタルな特許を識別することができる¹¹²。

競合情報

AI は、競合他社の出願、訴訟活動、市場動向を継続的に監視し、手動では収集不可能なリアルタイムの戦略的インサイトを提供する¹¹³。

評価と収益化

引用頻度、市場への影響、技術的重要性などの要因を分析することで、AI は特許に価値スコアを割り当て、企業がどの特許を維持、ライセンス供与、または売却するかを決定するのに役立つ¹¹³。未利用の資産や潜在的なライセンス機会を特定できる¹¹²。

主要ツール

- **IPRally** : 高度なポートフォリオ分析、カスタム分類、監視にグラフ AI を使用¹¹⁴。
- **PatSnap** : 調査だけでなく、自動化されたランドスケープレポートや先行技術のスコアリングにも AI を使用する統合プラットフォーム¹⁰²。
- **InQuartik (Patentcloud)** : OpenAI や Nvidia などの大手テクノロジー企業に関する AI を活用したポートフォリオ分析とケーススタディを提供¹¹⁶。

3.4. 商標と意匠

自動調査

AI は商標のクリアランス調査やオンラインでの侵害監視に使用される¹¹²。

画像ベースの検索

図形要素を持つ意匠特許や商標にとって、AI による画像認識は重要な応用分野である。これは特に、図形商標のウィーン分類を正しく特定するのに役立つ¹¹⁸。

導入事例（Toreru）：この日本の事務所は、商標の指定商品・役務分類を決定するためのクライアントとのヒアリングプロセスを自動化し、画像商標のウィーン分類コードを自動的に提案するために GenAI を使用しており、効率を大幅に向上させている¹¹⁸。

AI ツールの進化は、「タスクの自動化」から「ワークフローの統合」への成熟を反映している。第一世代の AI ツールは、クレームセットの校正（例：ClaimMaster）や先行技術調査の実行¹⁰⁹といった個別のタスクに焦点を当てていた。現在の主要なプラットフォーム、例えば Solve Intelligence、Questel、IPRally は、発明開示の分析から作成、プロセキューション応答、ポートフォリオ分析まで、IP ライフサイクルの複数の段階を連携させるエンドツーエンドのソリューションを提供している¹²。これらのプラットフォームは、Microsoft Word（DeepIP）や特許庁のデータベース（Patent Bots, Solve Intelligence）との直接統合など、既存のワークフローにも組み込まれている

¹⁰⁹。

このことから、価値提案は単一のタスクの時間を節約することから、IP 部門や事務所全体のシームレスでデータ駆動型のワークフローを創出することへと移行していることがわかる。これは、導入者側により大きな戦略的投資と組織変革を要求する。もはや一人の弁理士に単一のツールを与えるのではなく、IP チーム全体の働き方を再設計することが問題となっている。これにより、導入のハードルは上がり、プラットフォームの選択はより重要かつ長期的な決定となる。

表 2：IP ライフサイクルを支援する主要な生成 AI ツール

IP ライフサイクル段階	主要機能	主要ツール/プラットフォーム	注目すべき特徴
アイデア創出と調査	先行技術調査、新規性評価、NPL 検索	XLSCOUT, PQAI, IPRally, The Lens	自然言語による意味検索、NPL の広範なカバレッジ、ランキング付き結果、グラフ AI 分析 ⁹⁹
作成とプロセキューション	特許明細書・クレームの自動作成、オフィスアクション応答	Solve Intelligence, Questel, DeepIP, PatentPal,	完全なドラフト生成、法域特有のモデル、Word 統合、プロ

	生成、翻訳	ClaimMaster	セキューションツールキット、エラーチェック ¹²
ポートフォリオ管理 と戦略	ポートフォリオ分析、競合情報、価値評価、収益化機会の特定	IPRally, PatSnap, InQuartik (Patentcloud), Evaluateserve	リアルタイムの競合監視、自動分類、価値スコアリング、ランドスケープレポート ¹⁰²
商標と意匠	クリアランス調査、侵害監視、画像ベース検索、分類	Toreru (事例), Visualize IP	図形商標のウィーン分類の自動提案、画像認識による類似検索 ¹⁰¹

セクション 4：中核的課題と戦略的提言

本最終セクションでは、レポートの調査結果を戦略的な行動フレームワークに統合し、主要な障害に対処し、将来を見据えた助言を提供する。

4.1. 三つのリスクの航海：ガバナンスフレームワーク

機密性

これは最優先の懸念事項である。公開されている GenAI ツールを使用すると、入力内容がモデルの学習に使用される可能性があるため、営業秘密や機密性の高い発明データが漏洩するリスクがある¹⁰⁶。

提言：データセキュリティを保証し、契約上の保証（例：SOC 2 コンプライアンス）を提供する、エンタープライズグレードのプライベートまたはオンプレミスの AI ツールの使用を義務付ける¹¹⁰。クライアントの機密情報を公開モデルに入力することを禁止する明確な内部ポリシーを確立する⁷⁰。

正確性

GenAI は「ハルシネーション」、つまり、もっともらしいが虚偽の情報（存在しない判例や技術データなど）を生成する傾向がある³³。

提言：すべての AI 生成出力に対して、必須の「ヒューマン・イン・ザ・ループ」検証プロセスを導入する。AI は「非常に有能なジュニアアソシエイト」または「インターン」として扱い、その仕事は常に資格のある専門家によってレビューされなければならない¹¹⁹。

法的責任と倫理

IP 侵害（著作権で保護されたデータでの学習）や発明者性に関する法的枠組みはまだ発展途上である¹²⁵。実務家は、自らの業務成果物に対して 100% の責任を負い続ける⁵。

提言：epi のような機関のガイドラインを参考に明確な内部倫理ガイドラインを策定し、法域の規則（例：EU AI 法）への準拠を確保し、AI ツールの使用についてクライアントとの透明性を維持する⁴。

4.2. ヒューマン・イン・ザ・ループの必須性：役割とスキルの再定義

価値のシフト

AI が反復的な低価値タスク（定型文の作成、初期調査など）を自動化することで、戦略的思考、クライアントカウンセリング、複雑な法的分析といった高価値の人的スキルの重要性が高まっている¹²⁹。ここでの標語は、「AI は弁理士を代替しないかもしれないが、AI を使う弁理士は使わない弁理士を代替するだろう」である³⁸。

必須の新しいスキル

専門能力はもはや法的知識だけではない。今や以下のスキルが求められる：

- **プロンプトエンジニアリング**：正確で有用な応答を AI から引き出すために、的確で論理的なプロンプトを作成する能力¹²⁹。
- **批判的な出力評価**：AI が生成したコンテンツを、法的誤り、技術的不正確さ、戦略的弱点について迅速かつ正確に評価するスキル¹²⁹。

提言：すべての法務および技術スタッフに対して、構造化されたユースケースベースのトレーニングに重点的に投資する。トレーニングは、ツールの使い方だけでなく、その出力について批判的に考え、責任を持ってワークフローに統合する方法に焦点を当てるべきである⁷⁰。

4.3. ROI の難問：時間節約を超えた価値の測定

測定のギャップ

効率と時間の節約が最も引用される利点であるにもかかわらず、GenAI ツールの投資対効果（ROI）を正式に測定している組織は非常に少ない（法務専門家の約 20%）³⁵。

請求可能時間を超えて

真の ROI はコスト削減にとどまらない。それには、業務品質の向上、エラーリスクの低減、データ分析による戦略的洞察の強化、クライアント満足度の向上といった、無形だが重要な利点が含まれる¹³³。

請求モデルへの影響

従来時間単位で請求されていたタスクの自動化は、請求モデルに関する議論を強いている。クライアントは AI の効率性をますます認識しており、自動化可能なタスクに対する従来の時給制に反発する可能性があり、これが定額制や価値ベースの請求への移行を加速させる可能性がある¹⁰。

提言：多面的な ROI フレームワークを開発する。節約された時間だけでなく、オフィスアクションの許可率、プロセキューションサイクルの短縮、クライアント維持率、そしてデータ駆動型の新しいアドバイザリーサービスを提供する能力といった指標も追跡する。AI がどのようにしてより多くの価値を提供するために使用されているかについて、クライアントと積極的に対話し、新しい価格設定モデルを正当化する。

4.4. AI 統合のための戦略的フレームワーク：段階的アプローチ

フェーズ 1：ガバナンスと実験

部門横断的な AI タスクフォースを設立する。セキュリティ、倫理、許容される使用法をカバーする明確なガバナンスポリシーを策定する。先行技術調査や内部文書の要約など、リスクが低く影響の大きいパイロットプロジェクトから始める。

フェーズ 2：的を絞った導入とトレーニング

パイロットの結果に基づき、特定のワークフロー（例：専用の特許作成ツール）向けのエンタープライズグレードのツールを選択し、投資する。ツールの使用法と批判的評価スキルの両方に焦点を当てた包括的なトレーニングプログラムを展開する。

フェーズ 3：ワークフローの再設計とスケーリング

タスクの自動化を超えて、AI の能力を中心にワークフローを根本的に再設計する。AI ツールを他の事務所システム（例：DMS、ドCKETティングシステム）と統合する。ROI を継続的に測定し、成功した取り組みを組織全体に拡大する。

フェーズ 4：戦略的差別化

予測的な IP 分析、リアルタイムの競合情報レポート、データ駆動型のポートフォリオ戦略アドバイスなど、新しい付加価値サービスを提供するために AI の能力を活用する。単なるサービスプロバイダーではなく、クライアントの戦略的パートナーとなるために AI を使用する。

IP セクターにおける GenAI の成功裏な導入の主な障壁は、技術的なものではなく、組織的および文化的なものであることが明らかになっている。テクノロジーは存在し、急速に改善されているが [セクション 1 & 3]、調査では一貫して、リスク回避、データセキュリティへの懸念、信頼の欠如、そして明確な内部ポリシーとトレーニングの不在が最大のハードルであることが示されている³³。ツールが利用可能であっても、導入は不均一であり、個人の実験と全社的な戦略との間に乖離が見られる⁷。AI を成功裏に導入するには、ソフトウェアライセンス以上のものが必要である。それには、新しいガバナンス構造、再設計されたワークフロー、スキルアップへの多大な投資、そして人間と機械のパートナーシップを受け入れる文化的なシフトが求められる¹³⁴。

このことから、リーダーシップは「何を買うか」（どのツールか）よりも、「どのように進めるか」（変化をどう管理し、人々をどう訓練し、仕事をどう再設計するか）に焦点を当てるべきである。最大の投資はソフトウェアではなく、人的資本と組織開発に向けられるべきである。AI 時代の勝者となる企業や部門は、必ずしも最初に最先端技術を購入するところではなく、その技術を自らの人間システムに効果的かつ責任を持って統合するという「社会技術的」課題を克服するところであろう。

表 3：IP における AI 導入のためのリスク軽減とガバナンスのチェックリスト

リスクカテゴリー	主要な検討事項	推奨される行動/ポリシー	関連する出典
データ機密性とセキュリティ	機密情報（発明、クライアントデータ）の漏洩リスク。	公開 AI ツールの使用を禁止し、セキュリティが保証されたプライベート/エンタープライズ版を義務付ける。明確なデータ取り扱いポリシーを策定する。	70
正確性とハルシネーション	AI が生成する虚偽または不正確な情報（存在しない判例など）。	すべての AI 生成出力に対して、資格を持つ専門家による必須の人間による検証プロセスを導入する。	33

		「AI は補助ツール」という原則を徹底する。	
IP および法的コンプライアンス	著作権で保護されたデータでの学習、発明者性の問題、進化する規制。	各法域の IP 法および AI 規制（例：EU AI 法）を遵守する。AI 発明者性に関する自社の立場を明確にする。	4
倫理的使用と説明責任	AI の出力に対する最終的な責任の所在。クライアントとの透明性。	弁理士/弁護士が AI の出力に対して完全な責任を負うことを明確にする。AI の使用についてクライアントの同意を得て、透明性を確保する（epi ガイドラインに準拠）。	5
組織およびスキルのギャップ	従業員のスキル不足と変化への抵抗。	プロンプトエンジニアリングと批判的評価スキルに焦点を当てた、構造化された継続的なトレーニングプログラムに投資する。AI を脅威ではなく、価値を高めるパートナーとして位置づける。	75

引用文献

1. 【WIPO】10 年間の生成 AI 発明件数公表、中国が最多 | 弁理士法人 三枝国際特許事務所[大阪・東京] SAEGUSA & Partners [Osaka,Tokyo,Japan], 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://www.saegusa-pat.co.jp/topics/15378/>
2. WIPO の生成 AI に関する特許出願動向レポートの概要 - 株式会社 IP ..., 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://ipadvisory.co.jp/wipogenai/>
3. WIPO Issues a Patent Landscape Report on Generative AI- PatentNext, 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://www.patentnext.com/2024/08/wipo-issues-a-patent-landscape-report-on-generative-artificial-intelligence-genai/>

4. Key insights from the WIPO Generative AI patent landscape report - PatentRenewal.com, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.patentrenewal.com/post/key-insights-from-the-wipo-generative-ai-patent-landscape-report>
5. epiGuidelines: Use of Generative AI in the Work of... - epiInformation, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://information.patentepi.org/issue-4-2024/epi-guidelines-use-of-generative-ai.html>
6. The Legal Industry Report 2025 - American Bar Association, 6 月 24, 2025 にアクセス、
https://www.americanbar.org/groups/law_practice/resources/law-technology-today/2025/the-legal-industry-report-2025/
7. AI Adoption in Law Firms: Insights from AffiniPay's Industry Report | MyCase, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.mycase.com/blog/ai/ai-adoption-in-law-firms/>
8. Douyin Wins AI Model Protection Case in Beijing IP Court - The National Law Review, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://natlawreview.com/article/beijing-intellectual-property-court-artificial-intelligence-models-can-be-protected>
9. Protecting AI Innovation: The Role of Trade Secrets and Patent Enforcement in South Korea, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://iprd.evalueserve.com/blog/protecting-ai-innovation-the-role-of-trade-secrets-and-patent-enforcement-in-south-korea/>
10. AI starts making inroads into legal firms - India News | The Financial Express, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.financialexpress.com/india-news/ai-starts-making-inroads-into-legal-firms/3867409/>
11. Why AI is Southeast Asia's new engine for profitable growth | World Economic Forum, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.weforum.org/stories/2024/11/ai-report-southeast-asia-economic-growth/>
12. AI Patent Drafting Software – Questel, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.questel.com/patent/patent-preparation-patent-prosecution-process-copilots/patent-drafting-software-with-ai/>
13. Supplementing USPTO Prior Art Searches with AI Tools - DEV Community, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://dev.to/patentscanai/supplementing-uspto-prior-art-searches-with-ai-tools-ljd9>
14. Top Generative AI Trends from the Patent Landscape Report - WIPO, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.wipo.int/en/web/patent-analytics/generative-ai>
15. WIPO 生成 AI 特許ランドスケープレポート公表 (7 月 3 日) | KyK-IP 相澤良明 - note, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://note.com/kykip/n/nbc65993b2223>
16. 特許と AI - WIPO, 6 月 24, 2025 にアクセス、
https://www.wipo.int/edocs/mdocs/mdocs/ja/wipo_webinar_wjo_2025_1/wipo_webinar_wjo_2025_1_1.pdf
17. Patent Landscape Report - Generative Artificial Intelligence (GenAI), 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.wipo.int/web-publications/patent-landscape-report-generative-artificial-intelligence-genai/en/index.html>

18. European Patent Prosecution with Generative AI | Solve Intelligence, 6 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.solveintelligence.com/blog/post/european-patent-prosecution-with-generative-ai>
19. OK Computer: the EPO's New Generative AI Legal Interactive platform - Kluwer Patent Blog, 6 月 24, 2025 にアクセス、 <https://patentblog.kluweriplaw.com/2025/02/26/ok-computer-the-epos-new-generative-ai-legal-interactive-platform/>
20. MyEPO services: launch of groundbreaking AI-powered legal..., 6 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.epo.org/en/news-events/news/myepo-services-launch-groundbreaking-ai-powered-legal-search-tool>
21. Womble Bond Dickinson first UK law firm to sign up to Thomson Reuters CoCounsel AI firmwide, 6 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.womblebonddickinson.com/uk/insights/news/womble-bond-dickinson-first-uk-law-firm-sign-thomson-reuters-cocounsel-ai-firmwide>
22. Artificial intelligence | epo.org - European Patent Office, 6 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.epo.org/en/news-events/in-focus/ict/artificial-intelligence>
23. boult Updates to EPO guidelines relating to Artificial Intelligence and Machine Learning, 6 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.boult.com/bulletin/updates-to-epo-guidelines-relating-to-artificial-intelligence/>
24. Updated European Patent Office Examination Guidelines for AI Inventions - Secerna LLP, 6 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.secerna.com/insights/news/updated-european-patent-office-examination-guidelines-for-ai-inventions/>
25. A guide to AI and patents – 2024 update - GJE, 6 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.gje.com/resources/a-guide-to-ai-and-patents-2024-update/>
26. Understanding the New epi Guidelines on Generative AI for Patent Attorneys - Bastian Best, 6 月 24, 2025 にアクセス、 <https://bestpatent.eu/understanding-the-new-epi-guidelines-on-generative-ai-for-patent-attorneys/>
27. The Ethical Challenges of Generative AI · Dataetisk Tænkeshandle tank - DataEthics.eu, 6 月 24, 2025 にアクセス、 <https://dataethics.eu/ethical-challenges-of-generative-ai/>
28. Can AI Be An Inventor? The US, UK, EPO and German Approach | Insights | Mayer Brown, 6 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.mayerbrown.com/en/insights/publications/2024/01/can-ai-be-an-inventor-the-us-uk-epo-and-german-approach>
29. Germany: AI cannot be named as inventor - insights from the Bundesgerichtshof's DABUS decision - Norton Rose Fulbright, 6 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.nortonrosefulbright.com/en-me/knowledge/publications/7de4a9ba/germany-ai-cannot-be-named-as-inventor-insights-from-the-bundesgerichtshofs-dabus-decision>
30. Supreme Court rules that an AI machine is not an inventor - Fieldfisher, 6 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.fieldfisher.com/en/services/intellectual->

[property/intellectual -property-blog/supreme-court-rules-that-an-ai-machine-is-not-an-inventor](#)

31. How AI Inventorship Is Evolving In The UK, EU And US - Law360 - Mayer Brown, 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://www.mayerbrown.com/-/media/files/perspectives-events/publications/2024/02/how-ai-inventorship-is-evolving-in-the-uk-eu-and-us--law360.pdf%3Frev=-1>
32. The Legal Industry Report 2025 - Federal Bar Association, 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://www.fedbar.org/blog/the-legal-industry-report-2025/>
33. How AI Is Helping Corporate Legal Departments | Esquire ..., 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://www.jdsupra.com/legalnews/how-ai-is-helping-corporate-legal-5301682/>
34. BREAKING NEWS: Casetext's CoCounsel is Powered by OpenAI's ..., 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://www.fisherphillips.com/en/news-insights/fisher-phillips-launches-cocounsel-casetexts-transformative-ai-legal-assistant-tool.html>
35. 2025 GenAI report: Executive summary for legal professionals, 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://legal.thomsonreuters.com/blog/genai-report-executive-summary-for-legal-professionals/>
36. Top 5 AI Trends Law Firms Must Know in 2025 | Lighthouse - JDSupra, 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://www.jdsupra.com/legalnews/top-5-ai-trends-law-firms-must-know-in-7749618/>
37. Generative Artificial Intelligence and Revolution of Market for Legal Services - International Center for Law & Economics, 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://laweconcenter.org/wp-content/uploads/2025/01/GREDEG-WP-2025-01.pdf>
38. Intellectual Property: Face-to-Face with AI – IP & Technology Law Society - Sites at USC, 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://sites.usc.edu/iptls/2025/01/30/intellectual-property-face-to-face-with-ai/>
39. USPTO's Latest Eligibility Guidance for Artificial Intelligence Patents, 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://thompsonpatentlaw.com/eligibility-artificial-intelligence-patents/>
40. Gen AI and IP - Highlights from the USPTO/Copyright Office Public Symposium - Vorys, 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://www.vorys.com/publication-gen-ai-and-ip-highlights-from-the-uspto-copyright-office-public-symposium>
41. FAQs on Inventorship Guidance for AI-assisted Inventions - USPTO, 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://www.uspto.gov/initiatives/artificial-intelligence/faqs>
42. Inventorship guidance for AI-assisted inventions | USPTO, 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://www.uspto.gov/sites/default/files/documents/inventorship-guidance-for-ai-assisted-inventions.pdf>
43. Inventorship Guidance for AI-Assisted Inventions - Federal Register, 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://www.federalregister.gov/documents/2024/02/13/2024-02623/inventorship-guidance-for-ai-assisted-inventions>

44. The Subject of AI: New USPTO Guidance on the Subject Matter Eligibility of AI Inventions, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.clearipatentinsights.com/2024/07/the-subject-of-ai-new-uspto-guidance-on-the-subject-matter-eligibility-of-ai-inventions/>
45. U.S. Patent Office Issues Additional Guidance on Use of AI Tools, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.bipc.com/united-states-patent-office-issues-guidance-on-use-of-ai-tools>
46. USPTO issues guidance concerning the use of AI tools by parties and practitioners, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.uspto.gov/about-us/news-updates/uspto-issues-guidance-concerning-use-ai-tools-parties-and-practitioners>
47. Copyright Litigation in China: Some Interesting AI-Related Decisions from Chinese Courts, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://hughstephensblog.net/2025/06/01/copyright-litigation-in-china-some-interesting-ai-related-decisions-from-chinese-courts/>
48. Baidu Ernie Bot Statistics - Originality.ai, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://originality.ai/blog/baidu-ernie-bot-statistics>
49. Baidu Patents AI System to Translate Animal Sounds - Evertiq, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://evertiq.com/news/2025-05-13-baidu-patents-ai-system-to-translate-animal-sounds>
50. ERNIE 4.5 AI model by Baidu claims to match DeepSeek R1 at half the cost, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.tomshardware.com/tech-industry/artificial-intelligence/ernie-4-5-ai-model-by-baidu-claims-to-match-deepseek-r1-at-half-the-cost>
51. Another Chinese court finds that AI-generated images can be protected by copyright: the Changshu People's Court and the 'half heart' case | DLA Piper, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.dlapiper.com/en-at/insights/publications/2025/05/another-chinese-court-finds-that-ai-generated-images-can-be-protected-by-copyright>
52. China's National Intellectual Property Administration Issues Guidelines for Patent Applications for AI-Related Inventions, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.chinaiplawupdate.com/2025/01/chinas-national-intellectual-property-administration-issues-guidelines-for-patent-applications-for-ai-related-inventions/>
53. China Releases Guidelines for AI Related invention patent applications | DLA Piper, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.dlapiper.com/insights/publications/2025/02/china-releases-guidelines-for-ai-related-invention-patent-applications>
54. China | Guidelines for AI-related invention applications (trial) released - Spruson & Ferguson, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.spruson.com/china-guidelines-for-ai-related-invention-applications/>
55. REPORT 2023 JPO and CNIPA, 6 月 24, 2025 にアクセス、

- https://english.cnipa.gov.cn/module/download/down.jsp?i_ID=188832&colID=3040
56. China Focus: AI Used to Enhance Patent Examination Efficiency, Quality, 6 月 24, 2025 にアクセス、
https://english.cnipa.gov.cn/art/2025/4/25/art_3090_199315.html
57. AI Patent Startup WAND Gains Springcamp Investment and TIPS ..., 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://en.wowtale.net/2025/02/07/229259/>
58. About Us | IPLUCY- AI Patent Tools, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.iplucy.com/about-us>
59. Patent Protection for AI Outputs at KIPO - WIPO, 6 月 24, 2025 にアクセス、
https://www.wipo.int/edocs/mdocs/mdocs/en/wipo_ip_conv_ge_2_24/wipo_ip_conv_ge_2_24_ss06.pdf
60. Korean Intellectual Property Office Patents & Utility Models > Artificial Intelligence > Public survey regarding an AI inventor, 6 月 24, 2025 にアクセス、
https://www.kipo.go.kr/en/HtmlApp?c=92012&catmenu=ek03_08_05
61. Examination Guide in the Artificial Intelligence Field (KIPO) - WIPO, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.wipo.int/documents/d/scp/docs-en-meetings-session-36-comments-received-republic-of-korea-2.pdf>
62. KIPO Publishes Examination Guidelines on Artificial Intelligence - Kim & Chang IP, 6 月 24, 2025 にアクセス、
https://www.ip.kimchang.com/en/insights/detail.kc?sch_section=4&idx=22769
63. Examination Guide in the Artificial Intelligence Field (KIPO), 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.kipo.go.kr/upload/en/download/Examination%20Guide.pdf>
64. High Court Reaffirms Artificial Intelligence (AI) Cannot Be an Inventor in Korea, 6 月 24, 2025 にアクセス、
https://www.ip.kimchang.com/en/insights/detail.kc?sch_section=4&idx=29908
65. Court upholds refusal to recognize AI as an inventor - Korea JoongAng Daily, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://koreajoongangdaily.joins.com/2023/07/03/business/industry/patent-AI-authorship-Stephen-Thaler/20230703184404884.html>
66. Artificial Intelligence 2025 - South Korea - Global Practice Guides - Chambers and Partners, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://practiceguides.chambers.com/practice-guides/artificial-intelligence-2025/south-korea>
67. Artificial Intelligence 2025 - Taiwan | Global Practice Guides - Chambers and Partners, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://practiceguides.chambers.com/practice-guides/artificial-intelligence-2025/taiwan>
68. Quarterly Report, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.sipa.gov.tw/uploaddowndoc?flag=doc&file=/pubdata/news/202506071821490.pdf>
69. 2025 EU-Taiwan Seminar on Generative AI: Navigating IP Under Generative AI, 6

- 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.tipo.gov.tw/en/cp-897-1006668-093a4-2.html>
70. Recommendations for Enterprises in Establishing Internal Guidelines for Generative AI Usage (Taiwan), 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.leetsai.com/recommendations-for-enterprises-in-establishing-internal-guidelines-for-generative-ai-usage-taiwan>
 71. Artificial Intelligence 2024 - Taiwan | Global Practice Guides - Chambers and Partners, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://practiceguides.chambers.com/practice-guides/artificial-intelligence-2024/taiwan>
 72. Taiwan: Governing the AI genie - Law.asia, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://law.asia/governing-ai-taiwan/>
 73. Interpretation Released by Taiwan's IPO to Clarify Copyright Disputes Regarding Generative AI- Lee, Tsai & Partners, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.leetsai.com/interpretation-released-by-taiwans-ipo-to-clarify-copyright-disputes-regarding-generative-ai>
 74. Law firms bet on AI for next phase of growth, operational streamlining, ET LegalWorld, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://legaleconomictimes.indiatimes.com/news/corporate-business/law-firms-bet-on-ai-for-next-phase-of-growth-operational-streamlining/121262790>
 75. Case Study: How a Leading Law Firm Leveraged Generative AI to Enhance Legal Efficiency, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.amankhajanchi.com/post/case-study-how-a-leading-law-firm-leveraged-generative-ai-to-enhance-legal-efficiency>
 76. IndusLaw partners with Legitquest for advanced AI-powered legal solutions, ET LegalWorld, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://legaleconomictimes.indiatimes.com/news/corporate-business/induslaw-partners-with-legitquest-for-advanced-ai-powered-legal-solutions/119284682>
 77. India's AI-driven legal future: Opportunities and emerging trends in 2025, 6 月 24, 2025 にアクセス、 <https://indiaai.gov.in/article/india-s-ai-driven-legal-future-opportunities-and-emerging-trends-in-2025>
 78. The Rise Of Gen AI In Law: The Indian Supreme Court Gets a Technology Makeover, 6 月 24, 2025 にアクセス、 <https://www.akaike.ai/resources/the-rise-of-gen-ai-in-law-the-indian-supreme-court-gets-a-technology-makeover>
 79. Can AI Be An Inventor? Patent Rights And Machine Creativity - Lawful Legal, 6 月 24, 2025 にアクセス、 <https://lawfullegal.in/can-ai-be-an-inventor-patent-rights-and-machine-creativity/>
 80. AI as Inventor? India's Patent Law in Question - IIPRD, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.iiprd.com/is-ai-capable-of-becoming-an-inventor-understanding-indias-patent-law-in-the-era-of-the-machines/>
 81. Navigating the New Dimensions of AI-Generated Inventions in India: Patent Challenges, 6 月 24, 2025 にアクセス、

- <https://www.globalpatentfiling.com/blog/Navigating-the-New-Dimensions-of-AI-Generated-Inventions-in-India-Patent-Challenges>
82. Generative AI in Asia Pacific: Young employees lead as employers play catch-up - Deloitte, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.deloitte.com/us/en/insights/topics/emerging-technologies/generative-ai-adoption-asia-pacific-region.html>
83. Navigating the IP Future of AI in South East Asia - Rouse, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://rouse.com/insights/news/2025/navigating-the-ip-future-of-ai-in-south-east-asia>
84. The Future of IP Licensing: Why Singapore Leads in AI and SaaS - ASEAN Briefing, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.aseanbriefing.com/news/the-future-of-ip-licensing-why-singapore-leads-in-ai-and-saas/>
85. Patenting AI Technology and Software in Southeast Asia - Tilleke & Gibbins, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.tilleke.com/insights/patenting-ai-technology-and-software-in-southeast-asia/8/>
86. Singapore: IPOS issues supplemental guidance for examination of AI-related patent applications - Baker McKenzie InsightPlus, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://insightplus.bakermckenzie.com/bm/intellectual-property/singapore-ipos-issues-supplemental-guidance-for-examination-of-ai-related-patent-applications>
87. AI Regulations Come into Focus in Vietnam's Draft Law on Digital Technology Industry, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.tilleke.com/insights/ai-regulations-come-into-focus-in-vietnams-draft-law-on-digital-technology-industry/33/>
88. Generative AI and Copyright: How Businesses Can Mitigate Legal Risks - Tilleke & Gibbins, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.tilleke.com/insights/generative-ai-and-copyright-how-businesses-can-mitigate-legal-risks/86/>
89. Artificial Intelligence and Intellectual Property in ASEAN | Pintas IP Group, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://pintas-ip.com/artificial-intelligence-and-intellectual-property-in-asean/>
90. Generative AI's Disruption on Intellectual Property Landscape in Brazil: A Sociotechnical and McLuhan tetrad Analysis, 6 月 24, 2025 にアクセス、
https://solsbc.org.br/index.php/sbsi_estendido/article/download/34608/34399/
91. Patents for AI Inventions: A Comparison of Requirements in Brazil, the United States and Europe - DANIEL LAW, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.daniel-ip.com/en/articles/patents-for-ai-inventions-a-comparison-of-requirements-in-brazil-the-united-states-and-europe/>
92. AI and Machine Learning Patents in Brazil: An Overview - iPNOTE, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://ipnote.pro/en/blog/ai-and-machine-learning-patents-in-brazil-an-overview/>
93. Artificial Intelligence 2025 - Brazil | Global Practice Guides, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://practiceguides.chambers.com/practice-guides/artificial->

[intelligence-2025/brazil/trends-and-developments](#)

94. Law and technology in Brazil: trends, challenges, and opportunities for 2025 - Mattos Filho, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.mattosfilho.com.br/en/unico/technology-brazil-trends-2025/>
95. Copyright in Brazil in 2025: What to Expect?, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://copyrightblog.kluweriplaw.com/2025/04/10/copyright-in-brazil-in-2025-what-to-expect/>
96. Generative Artificial Intelligence: Intellectual Property - USMA Library, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://library.westpoint.edu/c.php?g=1388421&p=10802412>
97. How is AI Solving the Biggest Headaches in Prior Art Search? - XLSCOUT, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://xlscout.ai/how-is-ai-solving-the-biggest-headaches-in-prior-art-search/>
98. The Transformative Impact of AI on Patent Prior Art Searches | Insights | Ropes & Gray LLP, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.ropesgray.com/en/insights/alerts/2024/08/the-transformative-impact-of-ai-on-patent-prior-art-searches>
99. AI Prior Art Search with Novelty Checker LLM - XLSCOUT, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://xlscout.ai/novelty-checker-llm/>
100. Free AI Patent Search Tool - Powerful, Instant Results - Founders Legal, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://founderslegal.com/pqai-free-patent-search/>
101. Top 13 AI-based Patent Search Databases in 2025 - GreyB, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.greyb.com/blog/ai-based-patent-databases/>
102. 13 AI Patent Search Tools You Shouldn't Ignore in 2025 - Saastake, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://saastake.com/top-ai-patent-search-tools/>
103. 加速する生成 AI、LLM は特許業務をどう変えるか：最新の特許 AI 事例紹介【セミナーレポート】、6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000270.000042056.html>
104. Generative AI Patent Drafting Tools: The Top 10, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://patently.com/blog/generative-ai-patent-drafting>
105. Automated Patent Application Drafting Using Generative AI - OpenAI GPT and local LLMs, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.patentclaimmaster.com/generative-ai-patent-drafting.html>
106. The Practical Risks and Benefits of Using Generative AI for Patent Drafting, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://hselaw.com/news-and-information/in-the-news/the-practical-risks-and-benefits-of-using-generative-ai-for-patent-drafting/>
107. Write Patent Office action Responses with AI | Solve Intelligence, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.solveintelligence.com/blog/post/prepare-responses-to-uspto-office-actions>
108. The Double-Edged Sword of AI in Patent Drafting and Prosecution | AI Law and Policy, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.ailawandpolicy.com/2024/10/the-double-edged-sword-of-ai-in->

- [patent-drafting-and-prosecution/](#)
109. Best 6 AI Patent Drafting Tools in 2024 | Solve Intelligence, 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://www.solveintelligence.com/blog/post/best-ai-patent-drafting-tools>
 110. AI DeepIP Raises \$15M to be the Harvey of Patent Law ..., 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://ipwatchdog.com/press/ai-deepip-raises-15m-harvey-patent-law/>
 111. Generative AI based Patent Drafting - IP Author, 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://ipauthor.com/generative-ai-patent-drafting-by-ip-author/>
 112. AI in IAM: Enhancing Strategy, Efficiency, and Future Readiness, 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://www.ipcg.com/ai-in-iam-enhancing-strategy-efficiency-and-future-readiness/>
 113. The Impact of AI on Patent Portfolio Management - PatentPC, 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://patentpc.com/blog/the-impact-of-ai-on-patent-portfolio-management>
 114. IP Rally | AI Patent Search, Review & Classification, 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://www.iprally.com/>
 115. 10 AI-Driven Solutions for IP Portfolio Management - Evaluateserve, 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://www.evaluateserve.com/blog/10-ai-driven-solutions-for-ip-portfolio-management/>
 116. Patent Case Studies and Portfolio Analyses - All The Latest Insights - InQuartik, 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://www.inquartik.com/resources/cases-and-analyses/>
 117. 知財業務 生成 AI でどこまでできる？, 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://hr.tokkyo-lab.com/column/pinfosb/chizaigyomu-ai>
 118. 生成 AI は知財業務にどんな影響を与えるのか？～商標業務への活用例 ..., 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://toreru.jp/media/trademark/7924/>
 119. 生成 AI を特許業務に活用する難しさとは？ | 平井智之 / 知財 AI リーガルテック - note, 6 月 24, 2025 にアクセス、https://note.com/yutori_jd/n/n3831a1e6769b
 120. 3 Areas of 'Friction' Between Law Firms and Generative AI Developers - 2Civility, 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://www.2civility.org/areas-of-friction-between-law-firms-and-generative-ai-developers/>
 121. Mitigating the risks of using Generative AI for Businesses in Vietnam - KPMG International, 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://kpmg.com/vn/en/home/insights/2024/01/mitigating-the-risks-of-using-generative-ai-for-businesses-in-vi.html>
 122. GenAI IP Use Cases for In House Counsel - YouTube, 6 月 24, 2025 にアクセス、https://www.youtube.com/watch?v=S_qrU058fDA
 123. Risks of Generative AI in the Legal Sector - Elzaburu, 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://elzaburu.com/en/risks-of-using-generative-AI-in-the-legal-sector/>
 124. The Ethical Implications of Generative AI in Legal Practices: What You Need to Know, 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://www.xantrion.com/article/the-ethical-implications-of-generative-ai-in-legal-practices-what-you-need-to-know>

125. “AI と知財”をめぐる国際情勢, 6 月 24, 2025 にアクセス、
https://pifc.jp/2023/wp-content/uploads/2023/09/pifc_forum1_001.pdf
126. Generative AI: Navigating Intellectual Property - WIPO, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.wipo.int/documents/d/frontier-technologies/docs-en-pdf-generative-ai-factsheet.pdf>
127. Generative AI– IP cases and policy tracker | Mishcon de Reya, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.mishcon.com/generative-ai-intellectual-property-cases-and-policy-tracker>
128. Good models borrow, great models steal: intellectual property rights and generative AI | Policy and Society | Oxford Academic, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://academic.oup.com/policyandsociety/article/44/1/23/7606572>
129. 特許実務における生成AI活用の未来 | 角渕由英 (つのぶちよし ..., 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://note.com/tsunobuchi/n/nbd51b3a89cb3>
130. Why AI Can Make Patent Attorneys Twice as Valuable - Paximal, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.paximal.com/blog/why-ai-can-make-patent-attorneys-twice-as-valuable>
131. Thomson Reuters Survey: Over 95% of Legal Professionals Expect Gen AI to Become Central to Workflow Within Five Years - Bob Ambrogi, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.lawnext.com/2025/04/thomson-reuters-survey-over-95-of-legal-professionals-expect-gen-ai-to-become-central-to-workflow-within-five-years.html>
132. Number of legal professionals using Gen AI jumps sharply over past year, study shows, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.globallegalpost.com/news/number-of-legal-professionals-using-gen-ai-jumps-sharply-over-past-year-study-shows-1273491086>
133. The ROI of AI in Legal Tech - SpotDraft, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.spotdraft.com/blog/the-roi-of-ai-in-legal-tech>
134. AI for in-house legal – 2025 predictions - Deloitte, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.deloitte.com/global/en/services/legal/research/ai-inhouse-legal-2025-predictions.html>
135. Wisconsin Lawyer: Practice Pulse Generative AI in the Legal Industry: Trends for 2025:, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.wisbar.org/NewsPublications/WisconsinLawyer/Pages/Article.aspx?Volume=98&Issue=1&ArticleID=30803>
136. At a glance Corporate IP departments are increasingly leaning in on AI - Konsert Strategy & IP, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.konsert.com/content/uploads/2025/05/building-an-ai-enabled-ip-function.pdf>
137. The State of AI: Global survey | McKinsey, 6 月 24, 2025 にアクセス、
<https://www.mckinsey.com/capabilities/quantumblack/our-insights/the-state-of-ai>
138. Key Generative AI Statistics and Trends for 2025 [as of May 28, 2025] -

Sequencer AI, 6 月 24, 2025 にアクセス、<https://www.sequencer.ai/insights/key-generative-ai-statistics-and-trends-for-2025>